

永耕会だより

第10号

新年のご挨拶

「今年こそ一歩前にすすもう！」

社会福祉法人 永耕会

小田原市曾我岸 148 TEL0465-42-2268

HP: <http://eikou-kai.or.jp/>

発行者 理事長 長谷川隆三

編集 永耕会広報委員会

- 永耕園（障害者支援施設）
- 光海学園（福祉型障害児入所施設）
- デイセンター永耕（障害者日中活動支援）
- ういず（相談支援センター）
- 永耕会ホーム（共同生活援助）
第一ホーム（おちやの実・なかまたち）
第二ホーム 青空 あすなろ 上千代

2023年 年頭所感

社会福祉法人永耕会
理事長
長谷川 隆三



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

昨年は新型コロナウィルスに振り回された1年でした。

第6、7、8波では、積善会グループのいくつかの施設が次々とクラスターに襲われ、各現場は大変な苦労を重ねながらなんとか乗り切ってきました。

なかなか収束の見通しが立ちませんが、感染症法上の分類を2類から5類へ変更していくことが検討される段階にきています。インフルエンザ並みの対応で間に合うような時が来ることを期待しつつ、今しばらくは、感染防止の基本対策を徹底し、大クラスターの発生防止に努めていきます。

さて、積善会グループは、精神科の曾我病院を中心に永耕園・光海学園・デイセンター永耕・特養ルビーホーム・老健リバーイーストと障がい者支援や高齢者介護の分野へ業務を拡張してきました。

一方、母体の曾我病院は、昭和55年から平成9年までの許可病床498床をピークに、主に療養環境改善のためにダウンサイジングし、平成20年には399床まで減床してきました。その後、「入院治療中心から地域生活中心へ」との国の方針に沿って、クリニックやグループホームの開設、長期入院者の地域移行等を進めた結果、現在の許可病床は327床まで減少しています。

空いた北館2階を介護医療院「こもれび」として活用すべく準備中です。改修工事は12月に終了し、2月に開院の予定です。

介護医療院は、今後増加が見込まれる慢性期の医療・介護ニーズを併せ持つ高齢者に対応するための「日常的な医学管理」や「看取り・ターミナルケア」等の機能と「生活施設」としての機能を兼ね備えた介護保険施設です。小田原市内では初めての施設です。

積善会グループの施設および地域の高齢者にとって、選択肢が一つ増えることになります。この地域に「こもれび」があって良かった、「こもれび」を是非とも利用したいと言われる様な施設にして行きたいと思います。

社会福祉法人永耕会
常務理事
河辺 邦夫



今年は永耕園設立60年を迎えます

2023年（令和5年）は、1963年（昭和38年）4月に永耕園が設立されて60年目の年を迎えます。1954年（昭和29年）に設立された光海学園と共に、知的障害児者を保護し、居住を提供し、その生活を支援する場としての役割を果たしてきました。

しかし、近年、障がい当事者の意思と決定に基づく支援が求められ、居住への支援の形態も大きな入所施設から、地域の中であたり前に暮らすグループホームの支援へのシフトしてきています。豊富な設備、人員、支援スキルを活かしながら、障がい者が地域で生活する為の支援拠点としての新たな役割を果たして行きたいと思います。

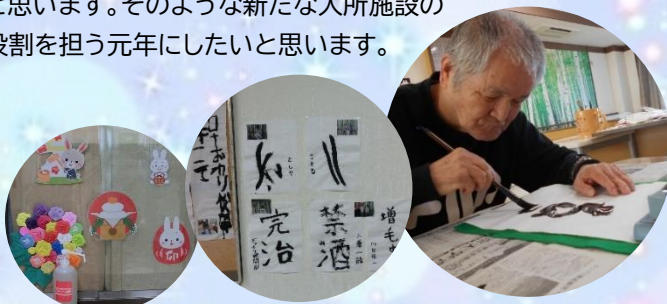


永耕園

障がい者が地域で暮らす 支援の拠点として

永耕園は、今年設立 60 年を迎えます。昨年 4 月 1 日、小田原市地域生活支援拠点等事業所として登録（緊急時の受け入れ・対応）しました。

登録前、登録後と 2 件、小田原基幹相談支援センターからの要請で、在宅でご家族と共に生活する事が困難となった方を短期入所事業で受け入れ、永耕園での生活を通して評価を行い、当該者のニーズにあった適切な支援に繋げていく事が出来ました。居住支援は、これまでの入所施設中心からグループホームでの地域での生活にシフトしてきています。緊急な対応を必要とする方、医療的、専門的な支援を必要とする方を受け入れ、適切な支援に繋げていく事が今後の入所施設の使命として求められていると思います。そのような新たな入所施設の役割を担う元年にしたいと思います。



「今やれること」を、 みんなで力を合わせて

光海学園

皆様方には、当園の運営にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

わたしたちの生活の一部となりました新型コロナウイルス感染症。コロナ渦で生じた新たな問題やコロナによって問題解決に向け加速したことなど…社会課題は大幅に変化をしておりますが、毎日の生活の中で今やれることをみんなで話しあい、みんなで力を合わせて取り組む、そして共感や喜びを大切に、小さな成功や体験を積み重ねることで少しずつ変わっていく、変えていける、そういう感覚を皆様のお力をいただきながらこれからも育んでいきたいと思ひます。引き続き変わらぬご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。



デイセンター 永耕

「皆が元気」な事業所を目指して より一層励んでまいります

旧年のデイセンター永耕はコロナウイルス感染対策に苦慮する1年でした。感染予防によりショップらぼが急遽お休みになるなど大変ご迷惑をおかけいたしました。ショップにご来店下さった皆さまからは温かい応援のお言葉を頂き感謝申し上げます。こゆるぎ幼稚園さんとの温かい交流は昨年も行うことが出来て、先日は可愛いお礼状を頂きました。今回の経験の中で「人との繋がり」の大切さを改めて感じております。地域の皆さまとの日常的な繋がりを丁寧に育みながら、デイセンター永耕が皆さまと共に成長しお役に立つことが出来る事業所となるよう努力してまいります。利用者さんの支援におきまして一人一人の想いにしっかりと向き合い、耳を傾け丁寧にに関わりながら想いを叶えることができるように応援していきたいと思っております。

今年もデイセンター永耕は元気な事業所を目指してがんばってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



利用者さんの気持ちを 大事にしていきます

永耕会 ホーム

昨年の3月に4名、8月に2名、ホームで初めてコロナウイルスに利用者さんが感染してしまうことがありました。幸い、皆さん症状も軽く2～3日で回復したのですが2週間ほどホームで隔離生活を送ることになってしまい、その際のストレスは予想以上のものでした。

感染予防のため、制限された生活を利用者さんたちに送ってもらうことに対し「申し訳ない」という思いと「何とか利用者さんたちが少しでも気分転換になるようなことを提供したい」という考えをホーム職員全員が強く思うようになりました。そこで昨年の11月にコロナ禍になり初めて「富士五湖方面」へ外食を伴うレクを実施しました。

コロナ禍前に行っていたレクと比べると、規模としては縮小せざるを得ないものでしたが久しぶりの外食に、レクに参加した利用者さんたちからは「とても楽しかった。また連れて行ってほしい」との言葉を頂くことが出来ました。コロナに感染しないための支援をしていくことも大切なことですが、それと同時に利用者さんたちの精神的なケアもしながら今後も支援をしていければと思います。



相談支援センター ういず

「気持ち新たに」



昨年も相談支援の仕事を通して多くのみなさんと出会い、日々の暮らしの中での楽しみや嬉しかったこと、不安なことや困りごとをお聞きすることが出来ました。コロナ禍が続いている中でも、みなさんとお話をしていると「久しぶりに旅行に出かけました」、「友人と会いました」といった話題が増えてきたように思えます。また、利用されている福祉サービス事業所に直接伺い、活動の様子を見せていただく機会もコロナ禍前の状態に戻りつつあります。

今年もみなさんの困りごとの解決や具体的な要望への対応に取り組みつつ、改めて「一人ひとりの思いがかなう日々の暮らし」についてみなさんと一緒に考え、実践できる一年にしていきたいと思えます。

心があたたまると、利用者さんからの素敵な年賀状▶



作業グループ からお知らせ



永耕園機織り
グループの
Instagramが
好評です!!



永耕園はたおり

糸を染め、手で織り、
製品をつくっています。



1月9日にシェアされた投稿
作成者: EIKOENHATADORI



永耕園の機織りグループがInstagramを始めました。フラワーズグループの作品と共に、素敵な作品の写真を掲載し大変好評です！是非、QRコードから

アクセスして登録、素敵な写真には♡をお願いします。

- ・パン工房ジョイのブログも引き続きよろしく。
- ・永耕会ホームページをスマホでみられるよう作業中です。乞うご期待！

❖❖❖❖ 編集後記 ❖❖❖❖

2020年より始まった新型コロナウイルス感染は3年が経過し、ウイルスの変異を繰り返しながら、この間第7波、第8波と重症化は低下しているものの感染力を強め、永耕会も昨年1年間はその渦に巻き込まれた1年でした。

国は社会経済活動とのバランス確保へと、その対応をシフトしてきています。一方、私たち高齢者や複雑な基礎疾患を有する障がい者を支援する福祉施設は、引き続き大変な緊張と感染対応の中で日常生活を取り戻していく努力を強いられる事になります。

これまでの経験と知見をもとに、徹底した感染対策を行う中で「何が必要か」「何ができるのか」を模索する一年となると思います。今年もよろしくお願いします。(河辺)

メール：info@eikou-kai.or.jp 電話：0465-42-2268